

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

<秋元湖H 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○

<秋元湖H 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	H30.10.18	11:36	11:50	17.4	13.1	軟泥	7.5Y 4/2	植物片	11.5	3.5		
H-1 (下層)						14.5								

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	H30.10.18	11:36	7.2	2.0	3.2	8.5	4.6	0.03	1.7	<1	1.3	N.D. (0.0015)	0.0075	—
H-1 (下層)					7.0	1.3	3.2	9.6	4.8	0.03	1.6	2	1.8	N.D. (0.0014)	0.0072	0.0014

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
H-1	37.6575°	140.1264°	H30.10.18	11:50	6.6	176	63.7	9.7	30.1	2.546	0.0	0.0	0.1	0.1	64.4	35.4	0.0081	2.0	120	1300	1.4

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	H30.11.7	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	5	0.73	成魚	—	—	38.6	3.6	35	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	4	1.6	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	36.6	3.6	33	1.2
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリウオ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	55	0.27	成魚	—	—	12	N.D. (1.4)	12	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	5	1.7	成魚	ワサギ	内臓除去	33.3	2.3	31	0.36
H-3	湖内 および 流入河川	37.6653°	140.1329°	H30.10.18	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.011	—	—	17	N.D. (13)	17	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	15	0.011	未成魚	—	—	4.3	N.D. (4.8)	4.3	—
				H30.10.19	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	4	0.0027	未成魚	—	—	N.D.	N.D. (7.1)	N.D. (7.8)	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	4	0.042	未成魚	—	—	31	N.D. (3.4)	31	—
H-4	湖内 および 周辺河川	37.6551°	140.1181°	H30.10.18	粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.18	—	—	9.4	N.D. (1.7)	9.4	—	
					藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.013	—	—	7.7	N.D. (2.4)	7.7	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	330	0.062	未成体/成体	—	—	27	N.D. (2.8)	27	—
					軟体動物	二枚貝	イカ	イカ	<i>Cristaria plicata</i>	カラスガイ	3	0.86	成体	—	軟体部	6.6	N.D. (1.5)	6.6	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。